園庭のブルーベリーでジャムづくり♪

９月食だより　阿井幼児園

　園庭のブルーベリーがたくさん実り、一粒ずつ大切に摘み取りました。毎年園庭でブルーベリー摘みをしているらいおんぐみ５歳児の子どもたちは、「赤色より黒色のブルーベリーの方が甘くておいしいよ！」と小さいお友だちに教えてあげながら、枝の間を覗き込み「ここにもあったよ！」と声を弾ませ、今年もたくさんブルーベリーを収穫しました。
　９月初旬、ブルーベリーを使って、みんなでジャム作りにも挑戦しました。鍋にたくさんのブルーベリーと砂糖やレモン汁を入れ、ゆっくりゆっくり混ぜていくと実から果汁が出て、少しずつ色や香りが変わっていく様子に興味津々の子どもたち。「ブルーベリーから汁が出てきたよ」「なんかいいにおいがしてきた！」「今どんな味だろう？」と、子どもたちは目を輝かせながら、ジャムに変身していく様子を見つめていました。
　その日のおやつは、ヨーグルトに手づくりのブルーベリージャムをかけていただきました。自分たちで摘んでつくったジャムを、まずはそのままひとくちパクッ！「あま～い！」「つぶつぶしててておいし～！」とみんな顔を見合わせにっこり♪ヨーグルトに合わせて食べると「もっと食べたい！」「このジャム使っておやつ作りたい！」などと、みんなで楽しくおいしく味わうことができました。
　園庭で育った季節の食材「ブルーベリー」を通して、自然の恵みを身近に感じながら、つくって食べる喜びを感じる時間となりました。





世界農業遺産のまち　奥出雲町

　奥出雲町は、自然とともに生きる暮らしが受け継がれてきた場所です。鉄づくりや農の営みを通じて育まれた知恵が評価され、世界農業遺産の町として認められています。
　幼児園やこども園での野菜づくりや調理体験は、まさにこの「自然とともにある暮らし」を子どもたちが体験的に学ぶ機会となっています。土に触れ、育てた野菜を収穫し、みんなで調理して味わう経験は、奥出雲町に受け継がれてきた農の営みへの理解につながり、子どもたちが地域の豊かさを感じる大切な学びの時間となっています。

世界農業遺産・奥出雲町
GIAHS OKUIZUMO